

◆『校種間（保・幼・小）連携による子どもの生活習慣づくりの取組』

「ほくほく夢ネット」

～園、学校、家庭、地域が「協働した子育て」をめざして～

福岡県中間市立中間北小学校

福岡県中間市立さくら保育園

1 中間北中学校区について

中間市は福岡県の北部に位置し、市の中央を南北に遠賀川が流れる北九州市に接した人口5万人弱の市である。市内には、4つの中学校と6つの小学校がある。中間北中学校区は、北小、北中からなる一小一中の小規模な校区で、校区内に、市内で唯一の公立保育所さくら保育園がある。平成17年度より、北校区連携事業「(名称)ほくほく夢ネット」を推進してきた。

2 「ほくほく夢ネット」の経緯・目的

「ほくほく夢ネット」の目的は、園、学校と家庭や地域が、子どもの実態や課題を共有し、その課題克服に向けて、「協働した子育て」を行うことで、子どもの学力を高め進路を保障することである。「ほくほくとあたたかい校区で子どもたちが夢を育むことができるように」と願いを込めて名付けた。

まず、私たちは、生活アンケートを実施した。結果として、予想を大きく超える子どもたちの生活習慣の乱れが見えた。最も気になったのは、就寝時刻の遅さと睡眠時間の短さであった。このことが、朝起きられない→朝食がとれない→学習に集中できないなどの悪循環につながっているように思えた。そこで、「学力の土台づくりとして、「自分の」生活を意識し、自己コントロールできる子どもを育てる」ことをめざし、園、学校と家庭が協働した生活習慣づくりの取組をすすめてきた。

3 「生活習慣づくり」を中心とした、家庭と連携・協働した子育ての取組の内容

(1) 生活アンケート (17年度より、年度当初に実施)

- 目的 子どもの実態を丁寧に調査・分析し、今後の取組を充実させる
- 対象 3, 5歳児の保護者、小学2, 4, 6年生、中学2年生の子どもと保護者
- 設問 朝食・睡眠・起床・TV・ゲーム・メール・家庭学習(絵本の読み聞かせ)アンケートは、保、小、中でそれぞれ集計し、事務局が中心となって考察を行い、各現場に返し、保育士・教師で共有している。また、保護者には、アンケートの結果をグラフ化したものや啓発の通信等を返している。

(2) 校区そろって早起きの取組(5, 9, 1月の一週間年3期)

- 保育園「えほんでほんわかこけこっこ～」
- 小学校「めざましホップステップジャンプ」
- 中学校「めざましチャレンジシート」

「就寝時刻の遅さと睡眠時間の短さ」という課題を克服するために、18年度より各学期に一週間ずつ、保、小、中がそろって、



〔保育園早起きカード〕

「早起き」をテーマとした取組を行っている。保、小、中でそろえているのは、実施時期と起きる時間の目標を決め、起きた時間をカードに記入することである。取組後、保育士・教師、子ども、保護者とも「ふりかえり」を行い、次へつなげるものとしている。園、小、中それぞれに総括を行い、取組のまとめを保護者に配布し、懇談会等でも常に話題としている。ただ単に、「早起き」キャンペーンをしているのではなく、子どもの生活をまるごとみていく、また、学力の土台づくりとして保護者とともに子どもの生活習慣づくりにかかわることを大切にしている。



〔小学校ふりかえりカード〕

(3) 子育て・家庭学習の手引き「いっしょにしようよ」の作成、配布、活用

生活アンケートからは、家庭で絵本の読み聞かせや家庭学習が習慣化できにくい実態も見えてきた。そこで、私たち保育士・教師の思いも込めて、北校区として大切にしていきたい子育ての基本的なことや小、中の家庭学習の手引きを掲載した冊子を作成し、20年度、全家庭へ配布した。子育ての基本的なこととして取り上げた

- ・早起きは子どもの笑顔が輝く魔法！
- ・こころをつなごう！
- ・もっと聴いて！

の3点を「北校区の子育てのポイント」として、校区の大人が常に意識をしながら子どもたちにかかわっていきたくと考えている。



〔子育て・家庭学習の手引き〕

4 成果と課題

(1) 成果

「校区そろって早起き」のふりかえりには、早起きをすることで、子どもたちが「早寝をする」ことの大切さを意識してきている様子や「時間を気にするようになった」様子などが数多く出されている。また、たとえ目標が達成できなくても、親子で頑張った様子や、自分なりに工夫した様子を感じられるものもあり、自分の生活をコントロールしようとする子どもたちがふえている。特に保育園では、毎回、意欲的に取り組む保護者がふえ、3、5歳児では、17年度、10時以降に就寝する子どもが5割を超えていたものが、現在では3割を切るころまできている。

(2) 課題

4年間の生活アンケートから見えている子どもたちの課題として、①TV、ゲーム等の時間、②絵本の読み聞かせ(園)・家庭学習(小、中)の習慣化がある。今年度からは、早起きに加えて、絵本の読み聞かせ・家庭学習をテーマとした取組をすることで、TV、ゲーム等の時間を短縮し、家庭でさらに生活時間を見直すことにつなげていきたいと考えている。1期の保育園の取り組みでは、「子育てサポート隊」による絵本の貸し出しサポートも行われ、地域の方々も協働した活動もすすみ始めている。

5 問い合わせ先

団体・学校名等：中間市立中間北小学校
TEL：093-244-3144 FAX：093-244-3244